

# 玉垂

たまだれ  
No.30

晩秋の宮川（平成22年11月23日）

<http://www.okunijinjin.or.jp>

## 晩秋を過ぎて

今季も多くの皆様に当社の紅葉をお楽しみ戴きました。よく問い合わせがある紅葉観賞の適期を通常は十一月中旬より十二月月上旬ですとお答えしておりますが、今年はまだにその通りで、十一月二十三日前後は一番の見頃でした。強風を伴う低気圧も十二月になるまで通過しなかったため、十二月五日の日曜日を過ぎても観賞に訪れる方々がおられました。気象情報会社のアンケートによると、「今年の紅葉はきれい」と感じた人は全国的に過半数はいたそうです。夏の長い日照時間と秋の寒気のめりはりが良かったと報じています。当社の紅葉も十一月に入ると順調に宮奥上流から少しずつ色づき始め、朝の気温が十度以下になると加速度的に進みました。この様な自然の摂理にはいつもながらに感心いたします。

当社の紅葉は昭和三十年代後半から盛んに植えられました。昭和の時期だけでも千本余の植樹が実施されたことは記録に明らかです。当時は主に宮川沿いの境内地に植えられました。しかしながら、石混じりの土壌のため十分に根付かず、枯れた苗のすぐ近くに良い土を客土し翌年も植えたことも度々ありました。植えた苗が小さいうちは、雑草を刈る草刈機に間違つて刈られないように、手鎌で苗の周辺を刈るのが初夏の大事な養生でした。また、今でこそ動力噴霧器で撒布しますが、初期の頃はカミキリ虫が卵を苗に植え付けるので、殺虫剤を持って一本ずつ根元の虫の穴を確認して退治をしたものです。さらに、紅葉の下草としての「しゃが」も、境内の密集した場所より間引きをし、適宜な所を選んで移植を実施いたしました。山林と川との間に元々植えられていた杉や松については殆ど伐採することなく、三年程を掛けて紅葉の成長に支障をもたらず下枝を、梯子や長柄の鋸を使い切り落として整備をいたしました。

この様にして丹精込めて育ててきた「宮川の紅葉」へ徐々に訪れる方が増えてきますと、遊歩道の整備が急務となりました。観賞の方が歩く道は目前の川に堆積した砂利を活用して整えました。また、対岸に渡れる木橋や東屋を数カ所に設置したことで、随分と紅葉観賞にバリエーションをもたらしたと思います。さらに、もみじ祭の野点で赤い和傘のもとお抹茶や和菓子を戴くことは、心にゆとりをもたらし、楽しんでくれる方々のひとつでもあります。以前に当社にて撮影を実施した映画「雨あがる」のスタッフが、この場所を撮影地として選んだ理由は宮川沿いの紅葉の新緑と土の道が有るからと云っていました。この地を訪れる方には、今後も様々な感じ方にて味わって戴ければ結構なことと存じます。これからも宮川の紅葉を皆様と協力し合って、未永く大切にしていきたいと考えます。

いつも乍らに年末のこの時期は、迎春準備の追い込みとなります。氏子崇敬者の各位におかれましては、ご自愛の上良いお年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。

### 新嘗祭の斎行・ 奉納農産物品評会の表彰

境内の紅葉が見頃を迎え、大勢の参拝者で賑わう十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。

氏子の皆様方よりご奉納いただきました農産物をご神前にお供えし、大前に今年一年の豊穣をご奉告、感謝申し上げます。

また、当社振興会の主催により、今回で五十四回目を迎える奉納農産物品評会が舞殿横にて開催されました。

三十一点もの出品をいただきました奉納農産物は、新嘗祭斎行後の即売会にて大盛況のうちに完売となりました。ここに品評会にて受賞された方々をご報告させていただきますとともに、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。



新嘗祭の斎行（11月23日）

- 第一位 牛 飼部農会
- 第二位 上川 原部農会
- 第三位 中川 上部農会
- 第四位 宮代 西部農会
- 第五位 谷 中部農会



奉納農産物品評会「特産の治郎柿」

- |                   |       |     |                |
|-------------------|-------|-----|----------------|
| 〈小國神社賞〉           | 米     | 円田下 | 鈴木 照男          |
|                   | 米     | 中川上 | 鈴木 定男          |
|                   | 大根    | 上川原 | 野口 富彦          |
|                   | 白菜    | 大久保 | 榊原 弘           |
|                   | 馬鈴薯   | 中川上 | 伊藤 誠           |
| 〈遠州中央農業協同組合代表理事賞〉 | 米     | 円田上 | 鈴木 紀雄          |
|                   | 大豆    | 中川上 | 岩瀬 俊夫          |
|                   | レタス   | 谷 中 | 村松 久雄          |
|                   | 茶     | 中川上 | 本多 利吉          |
|                   | 治郎柿   | 谷 中 | 朝比奈秀昭          |
| 〈小國神社振興会賞〉        | 大豆    | 大久保 | 天野 誠策          |
|                   | 大根    | 宮代西 | 山下 和成          |
|                   | 白菜    | 牛飼  | 村松伊佐雄          |
|                   | 生姜    | 宮代西 | 角ヶ谷武治          |
|                   | メロン   | 米 倉 | 今村 芳信          |
| 〈特等賞〉             | 大豆    | 上川原 | 鈴木 廣尚          |
|                   | サンマ芋  | 宮代西 | 小川 達男          |
|                   | 里芋    | 片瀬  | 毛利 正雄          |
|                   | 馬鈴薯   | 中川上 | 石黒 寛           |
|                   | メロン   | 米 倉 | 平田 一利          |
| 〈特別賞〉             | 十二点出品 | 円田下 | 鈴木 照男<br>(敬称略) |

### 篤志奉納者に感謝状の贈呈

本年も新嘗祭の斎行後、拝殿におきまして篤志奉納者の皆様に感謝状と記念品の贈呈をいたしました。

ご奉納いただきました皆様のご芳名を掲載し、改めまして厚く御礼申し上げます。

書一幅「神力」 森田 啓司(福岡市) 石橋 (有一十園)

指定文字一式 小林 健(浜北区) 春日灯笼一基 杭迫 柏樹(京都市) 四神薙菊紋提灯御神灯 北嶋 恵介(円田)

衝立 鈴木 愛子 有志一同(菊川市) (有政和電気) 中根 省二(森)

黒塗折敷 (有)大寶建設 大場喜久司(円田) 神饌米 松尾 要(一宮) 神饌米 鈴木 照男(円田) 神饌米 永田 佐吉(二宮) 神饌米 萩原 幸男(一宮)

(順不同敬称略)



杭迫柏樹氏揮毫「指定文字」活用の社名旗



モンゴル国ドルノゴビ県ガンホヤック知事ご参拝(10月17日)



静岡県・川勝平太知事ご参拝(8月27日)

### 遠州とこわか塾の開塾



遠州とこわか塾開塾奉告祭の斎行(9月26日)

先般、社報にてご案内させていただきましたとおり、ご自身の心や頭の若々しさを保つため、感性を高め、歴史・伝統・文化から日本人としての生き方を見つめ直し、自己研鑽の場をご提供する目的の「遠州とこわか塾」が立ち上がりました。募集を始めて程なく塾生定数一〇〇名のお申し込みをいただき、九月二十六日にご神前にて開塾奉告祭斎行後、研修室におきまして開塾式を執り行いました。

開塾式では、塾長であります打田宮司より改めてこの塾の趣旨説明がなされました。また、第一期(平成二十二年九月一日)〜平成二十三年八月三十一日)の開催予定の説明と各講演講師の紹介をいたしました。

第一回目は、十月十七日に静岡英和学院大学元講師で現在はスクールカウンセラーをされております堀内正文先生をお招きし、「歌舞伎を通して知ることのできる日本人の姿」について、堀内先生独自の視点からのお話を伺いました。

### 研修室のご利用状況



「静岡県の偉人」写真展



てまり展(11月23日)

### 夜話とLIVEの夕べ



Baruさんのライブ(9月22日)



講師の日本の文化を考える会  
宮崎義敬会長

九月二十二日の中秋の名月に合わせ、「芋名月の夜を古代の杜で！」と銘打ち「夜話とライブの夕べ」を開催いたしました。

第一部の夜話では、日本の文化を考える会会長の宮崎義敬様にご自身の幼少の頃からのエピソードをまじえ、「世相今昔」と題しましてお話しを伺いました。

第二部ではその歌声に評価を得ているボーカリストのBaru(バル)さんのライブをいたしました。宮崎氏作詞の曲や最新曲を含む八曲を熱唱して下さいました。お二人は共に山口県ご出身で、現在各地で「鎮守の森コンサート」を開催し、ご活躍されております。

### お伊勢参り落語会開催



早朝の旅立ち(11月8日)



お伊勢参り落語会(三遊亭栄楽師匠)

十一月七日午後七時より大宝殿におきまして、三遊亭栄楽師匠による「第二回お伊勢参り落語会」が開催されました。

この落語会は東京より伊勢までの道のりをワラジを履いて徒歩で旅をしながら行われるもので、道中十五カ所で開催されます。また各開催地にて集まった木戸銭は浄財として伊勢神宮に奉納されました。当社では会場内一〇名が集まり、師匠の楽しいお噺で始終笑いが絶えませんでした。翌朝、職員一同にてお見送りをし、道中の無事をお祈り申し上げます。

### 上海万博に舞楽出演



上海万博「静岡ウィーク」に舞楽出演  
(納蘇利) (8月16日)

本年開催されました上海万博の「静岡ウィーク」に、国指定重要無形民俗文化財であります当社の保存会をはじめ森町の三つの舞楽保存会が出演いたしました。総勢は三十名であり、その内当社からは八名が参加いたし、静岡空港発の三泊四日の行程でありました。上海万博での公演は、八月十六日午後二時より開始され、まず当社の「納蘇利」が舞われました。次に山名神社の「優填獅子」、そして天宮神社の「獅子」の順番で披露されました。観客の皆さんは熱心に観賞されており、また中国のテレビ等報道関係者の取材もありました。保存会にとって初めて海外において日本の伝統文化を披露し、交流活動を実施した今回の万博への参加は、大変有意義なことであったことと存じます。

### 鳥居禮画伯による舞楽絵「安摩」「二の舞」が完成



色香 (ご奉納)



二の舞



安摩

### 「紅葉まつり」の開催



紅葉まつりの野点(山下社中)

十一月二十八日、紅葉の見頃を迎えた境内において、恒例の「紅葉まつり」が開催されました。天候にも恵まれ早朝より多くの参拝者が訪れる中、舞殿におきまして琴の奉納演奏、参拝者休憩所前や宮川沿いでは野点が行われました。また、甘酒のおもてなし、門前の森町茶商組合によるお茶の接待・販売、宮川沿いの赤い橋附近での当社敬神婦人会によるおしるこが振る舞われました。夜間は赤い橋周辺をライトアップして、終日お楽しみいただきました。

### 遠州森町「こんにやくカレー」の完成発表会



遠州森町「こんにやくカレー」



完成発表会に臨む安間百合子 ヤスマ株式会社

十一月二十三日、新嘗祭に献上されました遠州森町「こんにやくカレー」の完成発表会が村松藤雄森町長をはじめ関係各位出席のもと実施されました。安政元年創業の「久米吉」のこんにやくと原木栽培にこだわった森町特産の干し椎茸を使用してヤスマ(株)森町工場にて食品化されました。カレーの旨味がこんにやくに染み込み、今までにない食感と濃厚な味の仕上がりとなっております。また、商品名は森町出身の書家、杭迫柏樹氏が揮毫され、さらに森町の大須賀義明画伯により当社の宮川の紅葉が描かれたパッケージになっています。



## 新春祈禱のご案内

平成二十三年の新春祈禱を例年通りご奉仕いたします。  
当日の受付は混雑が予想されますので、年内の予約受付をご利用ください。

尚、個人の祈禱は当日受付にて毎日ご奉仕いたしております。  
ご家族、皆様お揃いでご参拝ください。



正月の社頭状況（平成22年1月3日）



節分祭の豆まき式（平成22年2月3日）

- 一、予約対象 会社及び個人事業者
- 一、申込方法 電話またはFAX等にて申し受けます。
- 一、ご相談、ご不明の点がありましたら、左記までお問い合わせください。

小國神社 新春祈禱予約係  
TEL ○五三八八八九七三〇二  
FAX ○五三八八八九七三六七

## 一平成23年 厄年表一

男	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和27年 60才	昭和26年 61才	昭和25年 62才
性	昭和46年 41才	昭和45年 42才	昭和44年 43才
	昭和63年 24才	昭和62年 25才	昭和61年 26才
女	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和51年 36才	昭和50年 37才	昭和49年 38才
性	昭和55年 32才	昭和54年 33才	昭和53年 34才
	平成6年 18才	平成5年 19才	平成4年 20才

## 厄除大祭のご案内

一月二十日～二月三日

人生の節目に当たる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で難にたいやすい年頃といわれ、無事を願う気持ちは今も昔も変わりません。

小國神社では一月二十日より二月三日まで厄除大祭を執り行います。平成二十三年の厄年に当たる方は、「厄除」のご祈禱をお受けになり、健やかな日々の生活をお過ごしください。

尚、二月三日は混雑いたしますのでお早めにお越しくださいますようご案内申し上げます。

○祈禱料 五、〇〇〇円より

○厄除大祭神札及び御守を授与いたします。

○祈禱受付 午前九時～午後四時



静岡県市町村対抗駅伝大会出場の森町代表選手団（12月4日・町村の部第3位入賞と健闘いたしました。）

# まつり歳時記

十二月～三月

## 十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 十八日 鎮火祭 (午後三時)
- 二十三日 天長祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

## 二月 如月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 節分祭世話人祈祷祭 (午前十一時)
- 三日 節分祭 (午後二時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 紀元祭 (午前十時半)
- 十五日 養社壘子社白山例祭 (午前九時)
- 十五日 塩井神社例祭 (午前十時)
- 十八日 祈年祭 (午前十時)

## 一月 睦月

- 一日 初祈祷祭 (午前零時)
- 一日 歳旦祭 (午前三時)
- 二日 日供始祭 (午前八時)
- 三日 元始祭・追儺祭 (午前八時)
- 三日 田遊祭 (午後一時)
- 六日 本宮山例祭 (午前十時)
- 七日 昭和天皇祭遙拜式 (午前八時)
- 七日 神明宮参拜 (午前九時)
- 九日 甲子祭 (午前八時半)
- 十日 寒の丑日水汲祭 (午前二時)
- 十一日 手鋸始祭 (午前九時)
- 十六日 どんど焼祭 (午前九時)
- 十七日 八王子社例祭 (午前九時)
- 十七日 御弓始祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 二月三日 厄除大祭 (午前九時)

## 三月 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
  - 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
  - 十日 初甲子祭 (午前九時)
  - 十八日 月次祭 (午前九時)
  - 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
  - 十八日 鉦執社例祭 (午後一時半)
  - 二十一日 春季皇霊祭遙拜式 (午前八時)
- 〔例祭日程のお知らせ〕
- 四月十六日 舞楽奉奏 (午後二時)
  - 十七日 前日祭 (午前十時)
  - 十七日 舞楽奉奏 (午前十一時)
  - 十七日 神幸祭 (午後二時)
  - 十八日 例祭 (午前十時)

### 師走の大祓

十二月三十一日午後三時より師走(年越)の大祓式を斎行いたします。  
当日、ご参列いただければ神職ともにお祓いをお受けいただけますので是非ともご家族の皆様お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようご案内申し上げます。

尚、大祓の人形は一ヶ月前より、ご祈祷をお受けいただきました方々に、または社頭にてお頒けいたしております。ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。

皆様と一緒にお願いをして、清々しく新たな気持ちで新年を迎えましょう。

小國神社社務所 大祓係

TEL 〇五三八八八九七三〇二  
FAX 〇五三八八八九七三六七



師走の大祓 (12月31日)

### 古代の森シリーズ 30

#### 全国一宮等合殿社

当社は、境内外に全国一の宮の御祭神を主とした末社が多数お祀りされていきました。しかしながら長年の風雨の影響で腐朽した社殿や、明治十五年の火災により焼失した社殿もありました。そこで平成元年十二月十八日、参道脇に三間社流造りの社殿を造営し、五十余社をお祀りした全国一宮等合殿社として遷座いたしました。

例祭は四月八日で、例年杉祭の斎行後となっています。



全国一宮等合殿社例集 (4月8日)



十月桜の開花 (10月14日)

「小國の杜・点描」



出雲大社・千家尊祐宮司ご参拝及び椴皮採取木のご視察



森町の鳥「カワセミ」(9月7日・境内宮川にて)



敬神婦人会研修旅行・薬師寺にて 大谷徹英執事の講話 (7月6日)



菊花展の開催 (11月10日)



宮川の紅葉ライトアップ (11月20日)

平成二十二年十一月十八日  
 「玉垂」(たまだれ) 第三十号  
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆  
 発行 小國神社社務所  
 郵便番号 四三七〇二二六  
 住 所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一  
 電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二  
 FAX 〇五三八(八九) 七三六七  
 印刷 (株)デザインオフィス エム・エス・シー

平成二十二年十一月二十三日(火)午後時、宮奥の紅葉を撮影いたしました。前日の雨の影響により紅葉の枝が垂れ下がり、宮川の水面に接する様です。紅葉観賞をなされる方が例年多数訪れる新嘗祭の当日は、絶好の撮影日となりました。

表紙写真について

〇「玉垂」三十号をお届けいたします。秋の行事を主に報告させて頂きました。この度、当社にて実施されました「遠州森町「こん」や「カレ」の完成発表会には多くの報道関係の取材がありました。新聞テレビ等にてご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。小國ことまち横丁、久米吉、太田茶店等でお買い求め戴けます。地元名産のこんにやくとしいたげとカレのコラボを是非お楽しみください。〇今年の紅葉のライトアップは殊の外に好評でした。電気関係の担当者が昨年終了後から二年をかけて、様々な場所の実例を調査し研究した成果であります。ひたむきなご努力に心より敬意を表します。

編集後記

新職員紹介



巫女 皆田 希 (のぞみ)



巫女 市瀬 あゆみ (あゆみ)

ご指導・ご鞭撻の程宜しく  
お願いいたします。